

授業科目名	分子細胞生物学Ⅱ	担当教員	教授 松崎 有未 (他 日程表に記載)
開講年次・学期	1年後期	必修/選択	必修
開講形態	講義	時間数/単位数	2単位
授業概要			
生命現象が理解できる基礎を築くために、生体の基本単位である細胞から組織、器官という生物体のつくりと階層性を学ぶ。さらに動物がどのようにホメオスタシスを維持しているのかも学び、生命現象に対する理解を深める。			
科目の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幹細胞の種類や細胞分化のしくみを説明できる。 2. 個体と器官が形成される発生過程を理解する。 3. 細胞集団としての組織・臓器の構成、機能分化と方向を理解する。 4. 神経、循環器系、呼吸器、消化器等の器官の構造と機能について説明できる。 5. 内分泌器官の構造と分泌されるホルモンの働きについて説明できる。 6. 免疫系器官の構造および生体防御機構を説明できる。 7. 発癌のメカニズムと病態を理解する。 			
授業の進め方			
液晶プロジェクターで資料を提示し、時として板書しながら進める。			
成績評価の方法			
期末テストおよび授業への取り組み（予習、復習、出席等）で評価する。 5回以上欠席した場合には未修とする。			
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材			
「エッセンシャル細胞生物学」第4版 中村桂子他監訳 (2016) 南江堂 プリントを適宜配布する。 ・ ・ ・			
オフィスアワー			
月～金の講義時間を除いた時間帯。実習棟2F オープンラボ2			
コア・カリとの関連			
C-2 個体の構成と機能 C-2-2) 組織・各臓器の構成、機能と位置関係 C-2-2)-(1) 組織・各臓器の構造と機能 C-2-2)-(2) 器官の位置関係 C-2-3) 個体の調節機構とホメオスタシス C-2-3)-(1) 情報伝達の基本 C-2-3)-(2) 神経による情報伝達の基礎 C-2-3)-(3) 生体防御の機序 学修目標: C-2-4) 個体の発生 C-4 病因と病態 C-4-6) 腫瘍			